

【宋 宇ゼミナール】 フィールドワーク・活動

ゼミナール	財政学・地方財政論(宋 宇ゼミ)
対象地域	日本(国際比較による他国の列挙がある)、宇都宮市を含む各地方自治体
テーマ	あらゆる社会・地域の問題を財政の観点から読み解く
キーワード	租税、公共サービス、対人社会サービス、政府間財政関係、財政赤字、所得の再分配、教育財政、社会保障財政、格差問題、地方財政、ダブルケア、ヤングケアラー、ワーキングプア、少子高齢化、ジェンダー平等

財政とは、社会全体のために運営される「公のお財布」として機能する仕組みを指します。このお財布に収められる主な資金は「租税」であり、これは個人や企業から徴収される税金です。これらの資金は、子育て、雇用、医療、年金、介護などの社会保障、道路などのインフラ整備、教育、そして防衛関係といった公共サービスの提供に活用されます。このように、財政は政治、経済、社会の3つのシステムと深く結び付けられており、財政を知れば、社会全体に対する理解が深まります。実際に、あらゆる問題の検討には財政の観点が欠かせません。

宋ゼミは文献調査・研究を踏まえ、その時のゼミ生の関心に従い、財政の観点から皆さんが話し合った関心事を取り上げ、データ分析、現地調査、アンケート調査などの研究手法を通じて、外部報告、論文掲載、活動集の冊子作りで学びや自分の成長を可視化してきました。

● 知識のインプットがメインとされる輪読

これまで輪読した文献:

- ・イエスタ・エスピ＝アンデルセン、大沢真理(監訳)(2022)『平等と効率の福祉革命—新しい女性の役割』岩波書店。
- ・池田利道(2016)『23 区格差』中央公論新社。
- ・井手英策(2018)『幸福の増税論—財政はだれのために』岩波新書。
- ・井手英策(2017)『財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために』岩波ジュニア新書。
- ・井手英策(2021)『ふつうに生きるって何？小学生の僕が考えたみんなの幸せ』毎日新聞社。
- ・蟹江憲史(2021)『SDGs(持続可能な開発目標)』中央新書。
- ・菊池馨実(2019)『社会保障再考<地域>で支える』岩波新書。
- ・小林雅之(2008)『進学格差—深刻化する教育費負担』筑摩書房。
- ・鈴木賢志(編訳)(2016)『スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む』新評論。
- ・橋木俊昭(2013)『日本の教育格差』岩波書店。
- ・橋木俊昭・迫田さやか(2013)『夫婦格差社会』中央公論新社。
- ・ハートレー・ディーン(著)、福土正博(訳)(2012)『ニーズとは何か』日本経済評論社。
- ・初見康行(2018)『若年者の早期離職—時代背景と職場の人間関係が及ぼす影響』中央経済社。

- ・宮崎雅人(2021)『地域衰退』岩波書店。
- ・森岡孝二(2015)『雇用身分社会』岩波書店。
- ・山田昌弘(2020)『日本の少子化対策はなぜ失敗したのか?』光文社。
- ・横浜国立大学経済学部テキスト・プロジェクトチーム(編)(2019)『ゼロからはじめる経済入門—経済学への招待』有斐閣。



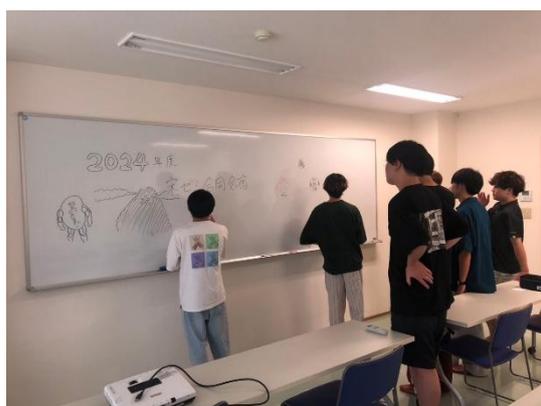
写真① 輪読時に「疑問点・論文」を提示



写真② 輪読後の整理&ディスカッション

● 関心問題を集約するゼミ合同合宿(学習を活かしたフィールドワーク)

後期のゼミが始まる前に、必ずフィールドワーク先で2年・3年・4年の合同ゼミ合宿を行います。インプットされた知識の確認、PPTの作成および発表練習をはじめ、ゼミ生同士の縦のつながりを重視し、後期のアウトプット活動につなげるゼミの共通テーマを固めていきます。



写真③ 箱根セミナーハウスでのゼミ合宿



写真④ 箱根セミナーハウスでのゼミ合宿

● アウトプット活動を通じて様々な能力が向上

アウトプット・フィールドワークの事例

- ・高大連携プログラム
- ・宋ゼミ体験イベント(高校生向け)
- ・ゼミ生が考えた「知って驚き!?財政クイズ」
- ・ボードゲームで租税や公共サービスについて考える
- ・地域経済学科のゼミ合同発表会
- ・外部報告(大学コンソーシアムとちぎの「学生&企業研究発表会」)
- ・外部報告(宇都宮市のまちづくり提案会)
- ・学科雑誌『地域活性化センター年報』への論文掲載(実績:第3巻～第9巻)
- ・宋ゼミ活動冊子の出版



写真⑤ 合宿先での質問紙調査



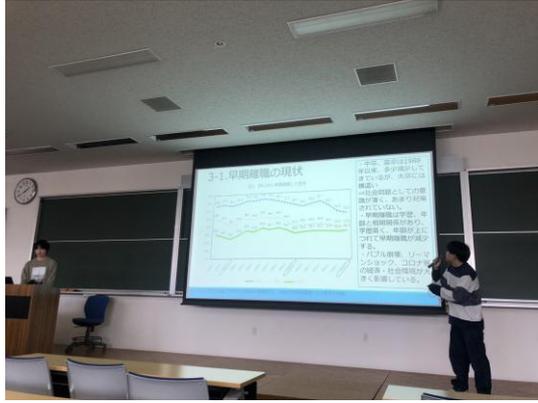
写真⑥ 商店街フィールドワーク



写真⑦ 宋ゼミナール体験イベント



写真⑧ 宋ゼミナール体験イベント



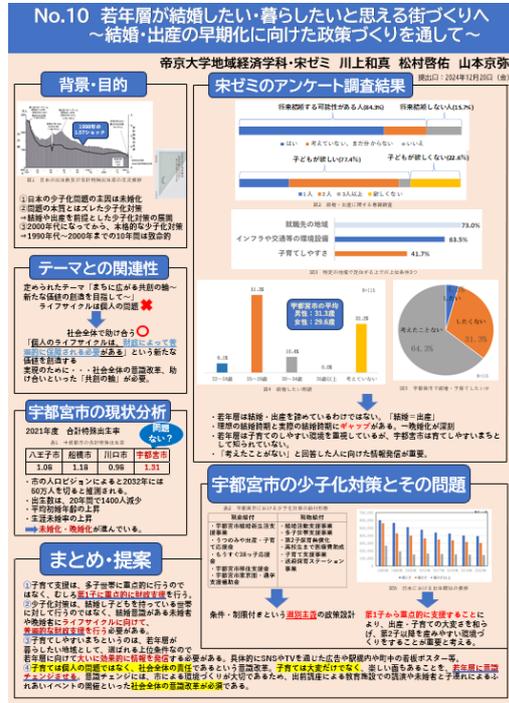
写真⑨ ゼミ合同発表会



写真⑩ ゼミ合同発表会



写真⑪ 外部報告の表彰



写真⑫ 外部報告のポスター

ISSN 2433-7234

帝京大学  
地域活性化研究センター年報  
2024 第8巻

● 研究論文

原発被災地の起業的・地域復興への挑戦—直轄市小高区—……………山田光夫 1

学術的著作における「地場産業」概念の理解  
—1960年代末—1980年代初めにおける学術的議論の再検討—……………山本賢亮 25

日本の小規模離島における光ネットワーク整備と高度無職離島への対応……………荒井真輝 39

コロナ禍を経た山形県鹿角町のインバウンド戦略の再構築……………山口泰史 73

● 報告

とちぎユースサポーターズネットワークとの協定に基づく調査研究報告（2022-2023年度）……………桑川 聡・桑川ゼミナール 89

2023年度地域経済学科の高大連携における宋ゼミの活動……………宋 宇・松村浩佑 97

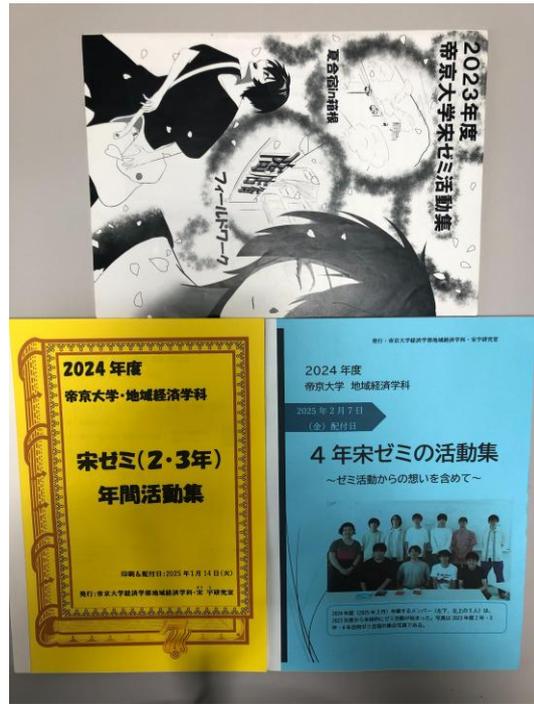
日本のジュンター平等問題に関する一考察—宇都宮市の取り組みを事例に—……………宋 宇・宋ゼミナール 106

那珂川町小砂地区における農業従事に関する現地調査……………林田朝幸・林田ゼミナール 115

漁業と漁村—加藤和俊先生特別講演録—……………加藤和俊・林田朝幸 121

● 地域活性化研究センター記事……………132

写真⑬ 投稿雑誌の表紙



写真⑭ 宋ゼミナール発行冊子

以上